

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【公表番号】特表2015-524143(P2015-524143A)

【公表日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2015-052

【出願番号】特願2015-512174(P2015-512174)

【国際特許分類】

H 05 B 37/02 (2006.01)

G 01 S 3/808 (2006.01)

G 01 S 13/86 (2006.01)

G 01 S 3/46 (2006.01)

【F I】

H 05 B 37/02 E

H 05 B 37/02 G

G 01 S 3/808

G 01 S 13/86

G 01 S 3/46

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月9日(2016.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1プローブ信号を送信する送信機を有する第1能動型センサと、

第2プローブ信号を送信する送信機を有する第2能動型センサと、

前記第1プローブ信号と、前記第2プローブ信号のエコーとを受信する受信機センサアレイと、を有し、

前記受信機センサアレイでの前記第1プローブ信号と前記第2プローブ信号との間の干渉が回避されるように、前記第1プローブ信号は、前記第2プローブ信号とは異なり、

前記第1プローブ信号の波形は、前記第2プローブ信号の波形と相関関係が無いように選択される、

制御システム。

【請求項2】

光源と、処理ユニットとを更に有し、前記処理ユニットは、受信した前記第1プローブ信号に基づいて前記第1能動型センサの位置を予測的に推定し、予測的に推定された前記第1能動型センサの位置に従って、前記光源の照明機能を制御する、請求項1に記載の制御システム。

【請求項3】

前記第1能動型センサは、携帯型センサであり、前記第2能動型センサは、固定されたインフラセンサである、請求項1又は2に記載の制御システム。

【請求項4】

前記光源は、前記第2能動型センサを有する、請求項2又は請求項2に従属する請求項3に記載の制御システム。

【請求項5】

前記受信機センサアレイは、前記第1能動型センサの位置を推定するために、到来方向の測定を実行する、請求項1乃至4のいずれか一項に記載の制御システム。

【請求項6】

前記受信機センサアレイは、前記第1プローブ信号を検出するために、相関を実行する、請求項1乃至5のいずれか一項に記載の制御システム。

【請求項7】

前記第1能動型センサと、前記第2能動型センサとは、超音波ベースセンサか、又はレーダベースセンサである、請求項1乃至6のいずれか一項に記載の制御システム。

【請求項8】

前記第1能動型センサは、前記第2プローブ信号の3送信おきに対して、多くても1つの第1プローブ信号を送信する、請求項1乃至7のいずれか一項に記載の制御システム。

【請求項9】

前記第1プローブ信号のバージョンは、前記第2能動型センサによってアクセス可能である、請求項1乃至8のいずれか一項に記載の制御システム。

【請求項10】

前記第1プローブ信号の前記バージョンは、前記第1プローブ信号の正確なコピーである、請求項9に記載の制御システム。

【請求項11】

前記第1能動型センサは、前記第2プローブ信号を受信する受信機を更に有し、前記第1能動型センサの前記送信機は、前記受信機による前記第2プローブ信号の受信に反応して、前記第1プローブ信号を送信する、請求項1乃至10のいずれか一項に記載の制御システム。

【請求項12】

前記第1能動型センサの前記受信機は、アレイセンサである、請求項11に記載の制御システム。

【請求項13】

前記第1プローブ信号は、前記第2能動型センサの前記送信機の帯域幅内に送信される、請求項1乃至12のいずれか一項に記載の制御システム。

【請求項14】

前記第1プローブ信号は、前記第2能動型センサの前記送信機の帯域幅外に送信される、請求項1乃至12のいずれか一項に記載の制御システム。

【請求項15】

第1能動型センサと、第2能動型センサとを有する制御システムにおける方法であつて、

前記第1能動型センサの送信機によって、第1プローブ信号を送信するステップと、前記第2能動型センサの送信機によって、第2プローブ信号を送信するステップと、

前記第2能動型センサの受信機センサアレイによって、前記第1プローブ信号と、前記第2プローブ信号のエコーとを受信するステップと、を有し、

前記受信機センサアレイでの前記第1プローブ信号と前記第2プローブ信号との間の干渉が回避されるように、前記第1プローブ信号は、前記第2プローブ信号とは異なり、

前記第1プローブ信号の波形は、前記第2プローブ信号の波形と相関関係が無いように選択される、

方法。